

金融機関の企業支援モデル

地域金融機関の企業支援の実際に関して取材活動を行い、支援の特徴を整理し、モデルになると考えられる企業支援の類型（以降、企業支援モデル）を導きました。本資料では、その一部を紹介します。

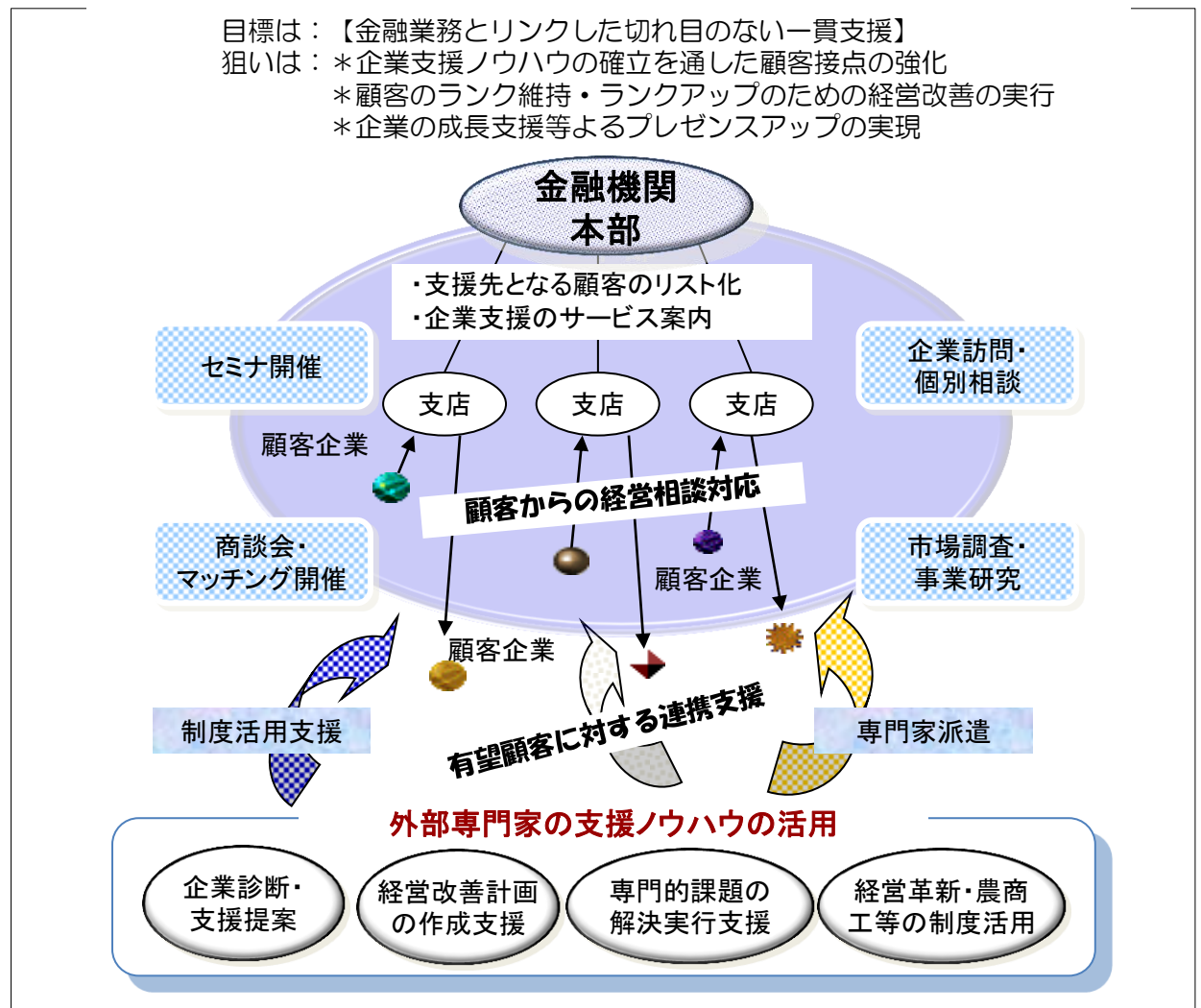
1. 金融機関による企業支援の基本形態

地域金融機関による公的支援制度の活用（特に専門家派遣）は、地域力連携拠点事業の時から一貫して増加の傾向にあり、ネットワーク強化事業ではアドバイザーの総巡回数の約20%を占めています。地域金融機関にとって中小企業支援とは、金融業務を補完し、強固な経営基盤を構築するための1手法として位置付けられ、金融業務とリンクした切れ目のない一貫支援を目指しています。

下図に、金融機関による中小企業支援の基本形態を示します。外部専門家の支援ノウハウを活用しながら、本部と支店が連携し、多様な支援を展開しています。

地域金融機関にとって中小企業支援とは【強固な経営基盤構築】の1手法

- 目標は：【金融業務とリンクした切れ目のない一貫支援】
 狙いは：*企業支援ノウハウの確立を通じた顧客接点の強化
 *顧客のランク維持・ランクアップのための経営改善の実行
 *企業の成長支援等によるプレゼンスアップの実現



平成25年度 作成

独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営支援部 支援機関サポート課

